

2022 年度

M1 医療概論 I 「人間性教育」 & 医療・福祉現場でのふれあい等

(早期体験学習 Early Exposure)

オリエンテーション 資料
コースガイド

日 時 : 4月7日(木) 10:50~

場 所 : 臨床講義室 A

「医療概論 I」・「医療・福祉現場でのふれあい等」における

欠席とその取扱いについて

■授業

- ・授業は、原則として対面で実施します。
- ・講義室へ参加した場合は、出席管理システム（カードリーダー）への登録をお願いします。
- *年度の途中で変更する場合は一斉メールなどで通知しますので、常に大学からのメールを確認してください。

■コアタイム・実習

- ・遅刻、欠席の際には原則、事前に教務(029-853-3019)に電話連絡すること。
- ・正当な理由により欠席する場合は、欠席届※を提出すること。
- ・欠席の取扱いは、以下の通りとする。

連絡	欠席届 受理	取扱い	例
なし	なし	無断欠席：	
あり	なし	通常の欠席： 特に配慮されない	体調不良で欠席したが、医療機関 は 受診しなかった場合*
あり	あり	欠席届が受理された欠席： 事情が配慮される。	医療機関でインフルエンザと診断 された場合、忌引きなど

*新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、症状を有している場合は登校せずに欠席し、自宅で静養すること。欠席届は、医療機関を受診した証明がなくとも（自宅療養をして受診しなかった場合でも）当面は受理される。

欠席は事前に（当日朝でも可）教務に電話で連絡し、復帰後に欠席届を提出する。

正当な理由がない場合は「欠席届」を受理しない（医学類専門科目では、サークル、クラブ活動は正答な理由とは認めない）。

■コアタイム

- ・欠席については、以下のように取り扱う。
 - 1つのテーマ(シナリオ)に関連するコアタイムについて
 - 欠席1回:そのテーマの評価は1段階下がる。
 - 欠席2回:そのテーマの評価はD評価となる。
- ・欠席届が受理された場合は、考慮される。

*欠席を理由とする評価点の調整とは別に、各テーマのコース評価表(manaba で提出)を正当な理由なく期限までに提出がなかった場合は、評価が1段階下がる。

■実習

- ・遅刻、欠席の際には原則、事前に教務に電話連絡すること。
- ・無断欠席は該当実習の評価がDとなる場合がある。

目 次

1. 医療概論 I 「人間性教育」について	1
2. 医療・福祉現場でのふれあい等（早期体験学習）について	
医療・福祉現場でのふれあい等 の概要	6
スケジュール及び課題	8
実習用グループ別名簿	9
病院実習における必要な態度	10
コース Coordinator : 大原信、斎藤環、堀内明由美（医学医療系）	
ユニット# 1 医療・福祉現場でのふれあい	12
サブユニット# 1 附属病院ふれあい実習（筑波大学附属病院）	
Coordinator : 市川 政雄、堀 愛、田中 理恵、岩上 将夫（医学医療系）	
サブユニット# 2 福祉施設等でのふれあい実習（学外福祉施設等）	
Coordinator : 市川 政雄、堀 愛、田中 理恵、岩上 将夫（医学医療系）	
サブユニット# 3 外来新患エスコート実習（筑波大学附属病院）	
Coordinator : 木村 友和（医学医療系）	
ユニット# 2 病院見学実習	18
（筑波大学附属病院）	
Coordinator : 大原 信（医学医療系）	
ユニット# 3 コミュニケーション実習	20
（4A 棟 3 階 4A322）	
Coordinator : 前野 哲博、堀内 明由美（医学医療系）	
ユニット# 4 リハビリテーション部、救急実習	22
サブユニット# 1 リハビリテーション部実習（筑波大学附属病院）	
Coordinator : 羽田 康司（医学医療系）	
サブユニット# 2 救急実習（4A 棟 3 階 4A322）	
Coordinator : 井上 貴昭、下條 信威（医学医療系）	
ユニット# 5 高齢者/妊婦模擬体験実習	24
（4A 棟 3 階 4A303）	
Coordinator : 前野 貴美（医学医療系）	
ユニット# 6 研究室紹介	25
（臨床講義室 C）	
Coordinator : 佐藤 豊実（医学医療系）	
ユニット# 7 感染対策実習	26
（4A 棟 2 階 4A211）	
Coordinator : 鈴木 広道、栗原 陽子（感染症内科）	

【1】 医療概論 I 「人間性教育」 (Humanity Education)

Coordinator : 大原 信・斎藤 環・堀内 明由美

開講期間 春 AB モジュール 水曜日・3~4 時限・木曜日・4~5 時限
発表会 : 6 月 29 日 (水) 3、4 時限
場 所 臨床講義室 A・4A 棟 4 階セミナー室等 (コアタイム、グループ討論)

1. ねらい (goal)

- ・ 将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習をする態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場に配慮しながら学ぶことの大切さを理解する。
- ・ テュートリアル学習を行う上で基本となるグループ討論、自己学習、レポート作成の方法を習得する。

2. 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーには関連するが、特に以下の項目を重視する。

・プロフェッショナリズム

社会人としての一般教養・常識を身につけ、その場にふさわしいマナーに則った行動ができる。研究倫理・医療倫理の原則を述べることができる。(レベル1)

豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示すことができる。(レベル1)

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配に関する、国内外の問題点を挙げるができる。(レベル1)

振り返り・セルフマネジメントの基本的な考え方およびその必要性を述べるができる。(レベル1)

・コミュニケーション

患者および家族の立場に立ち、その思いや、心理社会的背景を考えることができる。コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解できる。インフォームドコンセントの重要性を理解できる。(レベル1)

グループ学習において、グループメンバーの考えを聞き、自分の意見を述べるができる。

保健、医療、福祉の現場でケアに関わる職種を挙げるができる。(レベル1)

・未来開拓力

グローバルな課題に目を向け、医学・健康に関する国内外の様々なトピックに注目し、関心を示すことができる。(レベル1)

自らの考えを明らかにし、相手に伝えることの重要性を理解することができる。(レベル1)

協働学習の場において、問題解決のための議論をリードし、意見をまとめることができる。(レベル1)

3. 到達目標 (objectives)

- 1) 社会における医療の位置付けを説明し、最近の医療に関する社会的な問題の概要を列挙することができる。
- 2) 患者にとって、心身の状態・生活・人生が医学・医療に大きく影響を受けることを理解した上で、医師のプロフェッショナリズムとその医療倫理とのつながりを説明することができる。
- 3) これから医学を学び、医療の専門職者を目指す者として目標を自覚する。
- 4) グループ討論において、自分の意見を述べ、相手の意見を積極的に聞いて議論に参加し、メンバーの一員としての役割を果たす。
- 5) 自ら疑問点・問題点を挙げ、それを明らかにするための方法を述べることができる。
- 6) 学んだことを他者にわかりやすく説明する。
- 7) 医学生として、積極的に自己学習しようとする姿勢をもつ。
- 8) 医学類の学習における基本的なレポートの構成・ルールを理解し、作成ができる。

4. 授業時間 及び 教室

〔授業時間〕

春 AB モジュール 2022 年 4 月 13 日 (水) ～6 月 30 日 (木) : 水曜日 3～4 時限 木曜日 4～5 時限

〔教室〕 臨床講義室 A および 学群棟 4 階セミナー室・1 階 103, 104, 4D 棟セミナー室など

5. 授業方法

小グループによるテュートリアル授業と全体演習、発表会など。

教科書および参考図書を活用して、コアタイム・グループ討論にのぞむ。

教科書 〔改訂版〕 入門・医療倫理 I 赤林 朗 編 勁草書房

(医学図書館の電子ブックからアクセス可能ですが、同時アクセス数に制限があり、ダウンロードは不可であるため、購入をお勧めします。4 月 13 日のオリエンテーションまでに用意して持参すること)

電子ブック

電子ブックのタイトルが、分類番号の順に並んでおり、読みたい本のタイトルをクリックして利用する。

(本書籍は冒頭の 490.15 医学と倫理の章の一番下に掲載されています)

参考書 「医療倫理超入門」 マイケル・ダン/トニー・ホープ [著] 児島 聡/赤林 朗 [訳]
岩波科学ライブラリー 297 2020 年 岩波書店

《学習の進め方》 *具体的な学習の進め方は 4 月 13 日 (水) 3 時限のオリエンテーションで説明する。

- ・グループメンバー表および教室は、事前に M1 掲示板で確認する。
- ・5 つのテーマについて、2 回のコアタイム・複数回のグループ討論・自習の流れで学習する。(第 5 テーマのみコアタイムは 1 回)

コアタイムとは？

学生間の小グループで討論を行う時間

チューター（討論や学習の進め方の助言を行う教員）が同席する。

テーマごとの学習の流れ

- ① プレシナリオについて、予習を行う。（テーマ1はプレシナリオなし）
- ② コアタイム〇-1【〇はシナリオNo.】（チューターつき）：（指定のゼミ室）
各テュートリアル室グループメンバー間で自己紹介を行ったのちに、配布されたシナリオにもとづき、討論する。
↓
- ③ コアタイム後の自習：
コアタイム1であげた学習項目について情報収集・自己学習を行う。
↓
- ④ グループ学習（共有）（チューターなし）：自習で個別に学んだことを共有・確認し合う。分かったことから課題に戻り、更に調べることを討論する。（指定のゼミ室）
*第1テーマではグループ学習で行う討論を、コアタイム2でチューターの助言のもとに行う。
↓
- ⑤ コアタイム〇-2【〇はシナリオNo.】（チューターつき）：（指定のゼミ室）
冒頭で、グループで実施したこと（共有できたこと、残された課題）をチューターに報告する。自習で学んだことを共有した上で、討論を深める。（テーマ5はコアタイム2の設定なし）
↓
- ⑥ レポート作成：（自習を行う場所：教室、図書館など自由。）
 - ・レポートは自分の言葉でまとめる。資料のコピーアンドペーストは禁止（部分的なコピーも）、図表などを引用した場合には引用文献を記す。
 - ・ワープロソフトを用いて作成する。

《全体演習について》

全体演習1 4月27日（水）3・4時限

- ・入学してからの学習および生活を振り返る。
- ・2～3人グループ（テーマ1のグループ内で分ける）で、テーマ1のレポートを、学生間で相互評価し、提出に向けての修正を行う。
- ・テーマ1のレポートを作成して3部（自分用・グループメンバー用）持参すること。

全体演習2 6月1日（水）3・4時限

3人グループで

- ・テーマ1～2における学習方法を振り返り討論する。
- ・「倫理」「生と死」をテーマに演習ワークシートを用いて個人ワークおよびグループワーク、全体討論を行う。
- ・テーマ5の事前ワークが提示される。

《講義について》

テーマ5のコアタイムにおける討論の準備のために、医療に関する様々な分野で活躍する3人の医師（教員：小林 裕幸先生、大原 信先生、斎藤 環先生）による講義に参加する。（日程は時間割参照）
この他に、テーマ5コアタイム1までにmanabaより、下記から1名以上の講義を視聴し、感想レポートを記載して提出する。柳沢正史先生（基礎医学、睡眠医科学研究）、家田真樹先生（臨床研究、循環器内科学）、田宮菜奈子先生（社会医学、ヘルスサービスリサーチ）、長岡広香先生（臨床医学、緩和ケア）

2022 年度 M1 人間性教育時間割表

水		木	
4月13日		4月14日	
3	医療概論I オリエンテーション (堀内)	関連科目他	
4	医療概論I コアタイム1-1	医療概論I 自習	
5	学問への誘い	医療概論I 自習	
4月20日		4月21日	
3	医療概論I グループ学習(共有)	関連科目他	
4	医療概論I コアタイム 1-2	医療概論I レポート作成	
5	学問への誘い	医療概論I レポート作成	
4月27日		4月28日	
3	医療概論I 全体演習 (堀内)	関連科目他	
4		医療概論I コアタイム2-1	
5	学問への誘い	医療概論I 自習	
5月4日		5月5日	
3	みどりの日	こどもの日	
4			
5			
5月11日		5月12日	
3	医療概論I グループ学習(共有)	関連科目他	
4	医療概論I コアタイム 2-2	医療概論I レポート作成	
5	学問への誘い	医療概論I レポート作成	
5月18日		5月19日	
3	医療概論I コアタイム3-1	関連科目他	
4	医療概論I 自習	医療概論I 自習	
5	学問への誘い	医療概論I 自習	
5月25日		5月26日	
3	医療概論I グループ学習(共有)	関連科目他	
4	医療概論I コアタイム 3-2	医療概論I レポート作成	
5	力学	医療概論I レポート作成	
6月1日		6月2日	
3	医療概論I 全体演習 (堀内)	関連科目他	
4		医療概論I コアタイム4-1	
5	力学	医療概論I 自習	
6月8日		6月9日	
3	医療概論I グループ学習(共有)	関連科目他	
4	医療概論I コアタイム 4-2	医療概論I レポート作成	
5	力学	医療概論I レポート作成	
6月15日		6月16日	
3	医療概論I 発表会オリエンテーション (堀内)	関連科目他	
4	医療概論I テーマ5 講義 (斎藤)	医療概論I 発表準備	
5	力学	医療概論I 発表準備	
6月22日		6月23日	
3	医療概論I テーマ5 講義 (小林)	関連科目他	
4	医療概論I 発表準備	医療概論I テーマ5 講義 (大原)	
5	力学	医療概論I コアタイム5-1	
6月29日		6月30日	
3	医療概論I 発表	関連科目他	
4	医療概論I 発表	医療概論I 予備	
5	力学	医療概論I 予備	

【2】 医療・福祉現場でのふれあい等

(早期体験学習 Early Exposure)

コース Coordinator : 大原 信・斎藤 環・堀内 明由美

1. 概要

医学を学び始めるにあたり、医学・医療の一部に触れその目指す方向を垣間見ること、医学への学習意欲を高める。

2. 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーには関連するが、特に以下の項目を重視する。

・プロフェッショナリズム

社会人としての一般教養・常識を身につけ、その場にふさわしいマナーに則った行動ができる。研究倫理・医療倫理の原則を述べるができる。(レベル1)

豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示すことができる。(レベル1)

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配に関する、国内外の問題点を挙げるができる。(レベル1)

・コミュニケーション

患者および家族の立場に立ち、その思いや、心理社会的背景を考えることができる。コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解できる。インフォームドコンセントの重要性を理解できる。(レベル1)

グループ学習において、グループメンバーの考えを聞き、自分の意見を述べるができる。

保健、医療、福祉の現場でケアに関わる職種を挙げるができる。(レベル1)

・医療の社会性

保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職について理解できる。(レベル1)

地域医療の特徴や問題点について考察することができる。(レベル1)

3. 到達目標

- 1) 看護師の視点から入院患者の生活を述べられる。
- 2) 福祉施設、医療施設それぞれの働きを自分の言葉で述べられる。
- 3) 医療機関に働く各職種の人々に出会い、各職種の仕事内容の概要を述べられる。
- 4) コミュニケーションの成り立ちを理解して、医療面接における医師患者関係の構築できる医師になるために、必要な要素を述べられる。
- 5) BLS (Basic Life Support) をすすんで行える。
- 6) 高齢者／妊婦の人々の身体的条件を述べられる。
- 7) 外来患者の視点で大学病院の外来診療を述べられる。
- 8) 医学研究者に出会い、研究の意義や楽しさを述べられる。
- 9) 医療者として必要な感染対策の基礎的な方法を述べられる。

4. 学習方法

(下記は例年のふれあい実習の実施内容です。今年度は異なる点があるので、各実習項目のページもよく確認すること。)

ユニット#1

- 1) 病棟で看護師や入院患者と接する実習をする。
- 2) 夏休みの2日間学外の福祉施設、保健施設、医療施設を訪問し実習する。
- 3) 夏休み大学病院外来で初診患者に付き添いその受診全てに付き合う実習を行う。

ユニット# 2

- 4) 医事課、リネンサプライ/ランドリー、材料部/滅菌、厨房、リハビリ、臨床医療管理、医療情報、感染管理室、医療福祉支援センター、などを周り現場の人から話を聴いて話す。

ユニット# 3

- 5) 患者とのコミュニケーション実習を SP (Simulated Patient) の参加のもとで行う。

ユニット# 4

- 6) リハビリテーション部にてスタッフの説明を聞く。
- 7) トレーナーを用いて BLS (Basic Life Support) を実習する。

ユニット# 5

- 8) 高齢者/妊婦疑似体験用装具を用い実習する。

ユニット# 6

- 9) 基礎医学研究室、社会医学研究室、臨床医学研究室からの研究者の話を聴いて話す。

ユニット# 7

- 10) 手洗いの実施方法、個人防護方着脱方法について実習する。

5. 早期体験学習時の服装、髪型などの注意点

若い医学生ですが、社会、特に患者さんから見たら立派な社会人であることを忘れてはなりません。皆さんの学習に協力してもらうことに報いるには、服装、髪型などに気を配るべきです。自分の好みを通すのではなく、周りの目から見て社会人としてごく普通であるようにということです。

また、言葉遣いや接しかたにも気を配るべきで、これらが医師としての大切な基本となってゆきます。

具体的には、

- ・髪型：清潔で見苦しくないこと（極端な長髪や奇抜なヘアスタイル、不潔な印象を与えるものを避ける）。
 - ・服装：清潔でこざっぱりとしていること（ファッショナブル過ぎたり、不潔な印象や奇抜なものを避ける）。
 - ・靴：ヒールが低く、音のしないものが望まれる。
 - ・言葉：丁寧な言葉遣いでゆっくりと話すこと。
 - ・態度：学生ではなく、社会人としてふさわしい態度で接すること。
- など、詳細は次頁の記載を熟読の上、実習に参加すること。

6. 評価

実習態度、レポートなどにより総合的に評価する。無断欠席、遅刻、レポート提出期日・提出場所を守らない、相応しくない服装・立ち振る舞いなど、医学生として望ましくないと判断された場合、D判定となり単位を取得できない場合がある。

なお、各ユニットの成績にD評価が1つでもあると単位認定されない場合があり、D評価が2つある場合は単位の認定はされない。（ふれあい実習は進級における単位取得必須科目である）。

令和4年度 医療・福祉現場でのふれあい等 スケジュール 及び 担当教員

実施時期：春学期ABモジュール 火曜日 5～7時限 春Cモジュール 火・水・金曜日

週	月 日	第1グループ		第2グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
医学類入学時オリエンテーション(早期体験学習オリエンテーション) 10:50～											
1	4月19日	研究室紹介		見学実習1 (manaba)	見学実習2 (manaba)	コミュニケーション実習			高齢者／妊婦模 擬体験	附属病院でのふれあい実習 (manaba)	
	(火曜日)	佐藤 豊実				前野 哲博			前野 貴美	市川 政雄・堀 愛・ 田中 理恵・岩上 将夫	
2	4月26日	研究室紹介		見学実習2 (manaba)	見学実習1 (manaba)	リハビリテーション(manaba)・ 救急実習		高齢者／妊婦模 擬体験		見学実習1 (manaba)	見学実習2 (manaba)
	(火曜日)	佐藤 豊実				羽田 康司 清水 如代	井上貴昭・新井啓明 石井良征・鈴木敏夫 武田多一	本間 覚			
3	5月6日		高齢者／妊婦模 擬体験	附属病院でのふれあい実習 (manaba)		見学実習1 (manaba)	見学実習2 (manaba)	コミュニケーション実習		研究室紹介	
	(金曜日)		後藤 大輔	市川 政雄・堀 愛・ 田中 理恵・岩上 将夫				前野 哲博		佐藤 豊実	
4	5月10日	高齢者／妊婦模 擬体験		感染対策実習		感染対策実習		リハビリテーション(manaba)・ 救急実習		研究室紹介	
	(火曜日)	星 昭夫		栗原 陽子		栗原 陽子		羽田 康司 清水 如代	千葉滋・根来宏光 丸島愛樹・森戸直記 塚坂孝史	佐藤 豊実	
5	5月17日	附属病院でのふれあい実習 (manaba)		研究室紹介			高齢者／妊婦模 擬体験	見学実習1 (manaba)	見学実習2 (manaba)	コミュニケーション実習	
	(火曜日)	市川 政雄・堀 愛・ 田中 理恵・岩上 将夫		佐藤 豊実			高田 結			前野 哲博	
6	5月31日	感染対策実習		研究室紹介		高齢者／妊婦模 擬体験		感染対策実習		リハビリテーション(manaba)・ 救急実習	
	(火曜日)	栗原 陽子		佐藤 豊実		岡本 芳史		栗原 陽子		羽田 康司 清水 如代	田淵経司・山崎正志 下條信成・横山泰久 堀谷彩子
7	6月7日	コミュニケーション実習			高齢者／妊婦模 擬体験	研究室紹介		附属病院でのふれあい実習 (manaba)		見学実習2 (manaba)	見学実習1 (manaba)
	(火曜日)	前野 哲博			原 尚人	佐藤 豊実		市川 政雄・堀 愛・ 田中 理恵・岩上 将夫			
8	6月14日	リハビリテーション(manaba)・ 救急実習		高齢者／妊婦模 擬体験		研究室紹介		見学実習2 (manaba)	見学実習1 (manaba)	感染対策実習	
	(火曜日)	羽田 康司 清水 如代	井上貴昭・佐藤幸夫 森健作・後藤行延 塚越祐太	榎本 剛史		佐藤 豊実				栗原 陽子	
9	6月21日	見学実習1 (manaba)	見学実習2 (manaba)	コミュニケーション実習		附属病院でのふれあい実習 (manaba)		研究室紹介			高齢者／妊婦模 擬体験
	(火曜日)			前野 哲博		市川 政雄・堀 愛・ 田中 理恵・岩上 将夫		佐藤 豊実			太田 深秀
10	6月28日	見学実習2 (manaba)	見学実習1 (manaba)	リハビリテーション(manaba)・ 救急実習		見学実習2 (manaba)	見学実習1 (manaba)	研究室紹介		高齢者／妊婦模 擬体験	
	(火曜日)			羽田 康司 清水 如代	大原佑介・松原宗明 丸島愛樹・秋山知希 菊池慎二			佐藤 豊実		田中 理恵	
福祉現場等でのふれあい実習(manaba)市川 政雄・堀 愛・田中 理恵・岩上 将夫						外来新患エスコート実習(manaba): 木村 友和					

実習名の後に(manaba)と記載のあるものは、病院・実習室での実習は実施せず、manabaでの動画視聴やレポート提出などの課題となります。

各実習の形式等

実習名	実習形式等
#1-1 附属病院ふれあい実習	#1-1, #1-2 共通課題：manaba での課題
#1-2 附属病院ふれあい実習	
#1-3 外来新患エスコート実習	
#2 病院見学実習	#1-3, #2, 共通課題：manaba での課題
#3 コミュニケーション実習	実習室での実習 (レポートはmanabaに提出)
#4-1 リハビリテーション部実習	manaba での課題
#4-2 救急実習	実習室での実習 (レポートはmanabaに提出)
#5 高齢者/妊婦模擬体験実習	実習室での実習 (レポートはmanabaに提出)
#6 研究室紹介	講義室で受講
#7 感染対策	実習室での実習 (レポートは翌週火曜日までにレポートボックスに提出)

実習用グループ別名簿

病院実習における必要な態度

1. 服装・身だしなみ

- 原則として、患者さんや医療スタッフに不快感を与えない、社会人として常識的な服装であること。身勝手な自己の判断基準は認められない。
- 通常の白衣を着る場合、男性は、襟のあるシャツ(白い色または淡い色で、柄のないものまたは薄い柄)で、基本的にはネクタイ着用。シャツの下に色が透けて見えるような派手な色のTシャツや下着は着ないこと。白衣のボタンをきちんと締めて、名札をつけること。
- ケーシー型の白衣の場合、下に色が透けて見えるような派手な色のTシャツや下着は着ないこと。肩のボタンをきちんと締めて着ること。
- ズボン、紺やベージュ系のものを推奨、ベルトで腰できちんと締める。ジーンズは認められない。
- 髪は、不潔でないようにすること、長髪はきちんとまとめておくこと、一般社会人として非常識な染色は認められない。特に、手術室などに入室する場合には、髪の清潔さは重要である。
- アクセサリーは、基本的には必要ないものである。ピアスも含め、控えめにする。なお、耳たぶ以外の場所のピアス、男性のピアスは、常識の範囲ではないと考えておくこと。
- 華美な化粧は必要ないほか、香水は基本的につけてはならない。
- 特に、女子学生の場合、胸が大きく開いたブラウスやノースリーブなど、肌の露出が大きい服装については、十分に注意をすること。スカートは、丈が短すぎるもの・長すぎるものは着用しない。
- 靴は、清潔なもので、靴下を履くこと。素足に下駄、サンダル、スリッパ、ハイヒール、ミュール等は認められない。
- 個別に服装についての指示があった場合は、それに従うこと。

2. 言動

- 廊下、エレベーターは患者さんを優先すること
- 廊下を横に並んで歩かない。
- 私語は慎む。(特に患者さんの前では緊張感をもつ)
- 実習中に見聞きして得た患者情報を他人に話さない。SNS等には書き込まない。
- 実習先の教職員に先ずあいさつをする
- 実習中は携帯電話・スマートフォン等の電源はOFFにする。使用については病院のルールを守ること。
(参考:「院内のスマートフォン・携帯電話等の利用について」12ページ掲載)
- 実習に必要な荷物は持ち込まないこと

3. 心構え

- 気持ちは医師に準ずる(社会人の)つもりで
- 集合時間は厳守。遅刻をしない(集合場所は前もって確認を)
- 病院は患者さんには治療の場であり、教職員には職場です。周りを不愉快な気持ちにさせない様、気を配って下さい。
- 遅刻、欠席する場合は早めに連絡する。(附属病院実習の際の病棟の電話番号は実習名簿に掲載)

院内のスマートフォン・携帯電話等の利用について

附属病院執行部会議承認

基本方針

従来の使用可能区域の設定を改め、院内使用禁止区域ならびにマナー区域を定め、その他の場所での使用は原則認めるものとする。但し、使用においては、利用者の契約回線を使用し、院内全域において、写真・動画撮影並びに歩行中の使用は禁止とする。

3. 使用禁止区域の設定

医療機器等と電波干渉を生じる可能性があるため、患者安全の観点より下記のエリアは使用禁止とする。

第一手術室	OPE room 内
第二手術室	OPE room 内
血管造影室	造影室内 (除くコントロール室)
放射線治療	照射室内 (除くコントロール室)
CT/MRI	検査室内 (除くコントロール室)
単純レントゲン	撮影室内 (除くコントロール室)
内視鏡室	処置室内処置台周辺
救急外来	初療オープンスペース・手術室内・血管造影室内
ICU	病室内 (除くステーション・通路)
HCU	病室内 (除くステーション・通路)
NICU	病室内 (除くステーション・通路)
GCU	病室内 (除くステーション・通路)
分娩室	分娩台周辺

4. マナー区域の設定

患者のプライバシー保持・療養環境維持の観点より下記のエリアでは出来るだけ通話はお控えいただく。

各病棟	多床病室内・廊下。消灯時間後は全域。
外来待合スペース	全域 (外待ち・中待ち)
各外来ブース内	診察室・処置室内
検査室待合	生理検査・内視鏡検査・採血室
放射線待合	単純・CT・MRI 等
外来化学療法室	点滴処置スペース・待合
外来中央受付	会計窓口周辺

ユニット# 1 医療・福祉現場でのふれあい

Coordinator : 市川 政雄、堀 愛、田中 理恵、岩上 将夫 (医学医療系)

今年度の実施方法：

1. 下記に示す、サブユニット#1 附属病院ふれあい実習と、#2 福祉施設等でのふれあい実習の、Goal と Objectives を念頭に、動画視聴により、医療や介護を必要とする当事者の語りにふれてください。具体的な方法は、manaba を確認すること。
 - (1) 健康と病いの語りデータベース <https://www.dipex-j.org/>
 - ・manaba 掲載資料のリンクを視聴してください。当事者のプロフィールや、掲載リンク以外の語りも、自由に視聴してよい。
 - (2) コロナ禍とナース：米国のコロナ ICU 看護師と一緒に知ろう&話そう&考えよう
 - ・岩間恵子先生 2021/2/12 講演 (Youtube 58:15)
<https://www.youtube.com/watch?v=cCBK6EwGPjI&t=3s>
 - ・岩間恵子先生が働く ICU から、自宅へ退院された患者さんの動画 (Youtube 7:07)
<https://www.youtube.com/watch?v=QuieUY2iSeA>
2. manaba でアンケート (レポート 2400 字以内、締切 6 月 30 日 18 時) に回答してください。自動ログオフにより入力内容が消去されることがあるため、こまめに保存する、文書作成ソフトウェアから内容を貼り付ける等、注意すること。また、剽窃などの不正行為を行わないこと。
3. 下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

サブユニット# 1 附属病院ふれあい実習

Coordinator : 市川 政雄、堀 愛、田中 理恵、岩上 将夫 (医学医療系)

1. Goal

医療を必要とする当事者とふれあい、当事者の視点を通して、医療の現状と課題を認識する。

2. Objectives

- 1) 生活環境としての病棟を理解する。
- 2) 患者さんが社会的背景を持つことを知る。
- 3) 医療が組織として行われていることを知る。

3. 実習日程

実習に関するオリエンテーションを受け、その後、各学生が 2 回の実習を病棟で行う。各日とも実習は 5, 6, 7 限、19 時 15 分ごろまで。

4. 実習内容

○実習 1 回目

15:15～ 教室 (4A103) 集合し、指定された病棟に移動
看護師より、病棟内構造を中心としたオリエンテーション (30 分程度)
自分で病棟内を歩いてみて、住環境として病院がどのような所か、
自分の生活環境を思い浮かべて比較しながら観察、体験する。
想定していること : トイレは気持ちよく使える構造か、
病室の清潔度、広さ、プライバシーの守られ方、入浴設備の使いやすさなど
その後 病棟看護師の指示に従って実習を行う。

(～19:00)

想定されること : 食事の配膳、下膳、食事介助、食事量のチェック、
(例) 患者の移送 (車椅子介助)、イブニングケアなど

○実習 2 回目

- 15:15 教室 (4A103) 集合し、指定された病棟に移動
～18:00 前回の体験をもとに、自分でさらに体験してみたいこと、
観察したいことなどを取り入れながら、看護師の指示に従って行動する。
患者さんに話しかけ、お話をうかがうなど、意識的に関わってみる。
18:05～19:15 学生全員と教員とでカンファレンスを持ち、個々の学生の体験を交換する。
(学群棟 1 階 4A103)、3 グループに分かれて実施予定。

5. 実習上の注意事項

- 1) 遅刻、欠席の場合には実習開始時間前までに病棟に連絡すること。
- 2) 動きやすい服 (ズボン、スラックス、運動靴を心がける) を着用し、その上に指定のエプロンと名札を付けること。清潔で音をたてない靴を履くこと (ゴム底が望ましい)。スカート、胸元の開いた服、サンダル、つっかけ、かがむと背中が見えそうな服、はさけてください。
- 3) 病棟内には携帯電話、タブレット端末を持ち込まないこと。
- 4) 患者さんに対しては丁寧で、失礼のない言葉使いをすること。
- 5) 病棟で見聞きしたことは決して他に漏らさないこと (学生同士の話であっても、周囲で誰が聞いているか、分からない)。守秘義務があることを忘れてはならない。
- 6) 転倒したり、転落することないように、患者さんの安全には細心の注意を払うこと。
- 7) 病棟は患者さんの生活の場であることを忘れず、プライバシーを侵さないこと。
- 8) 病棟看護師の指示には従うこと。
- 9) 病棟に行ったとき、病棟から帰るとき、及びその他必要に応じて手を洗うこと。
- 10) 判断出来ないこと、困ったことなどあれば、病棟看護師または教員に相談すること。

6. 緊急連絡網 (事故、その他)

緊急の場合には、病棟の責任者および PCME に連絡すること。

7. 担当教員

実習中は担当教員 (市川、堀、田中) と TA が巡回し、必要に応じて指導を行う。困った点、疑問な点など遠慮なく話すこと。

8. 実習記録物

実習終了後にレポートを書くこと (A4 レポート用紙に 2 枚以上・ワープロ可)。

テーマ: 「医療・福祉現場でのふれあいー附属病院実習で学んだこと」

提出: 2 回目の実習終了翌週の火曜日 17 時までに、エントランスホール脇レポートボックスへ。

9. 評価

評価は実習態度、提出物及び病棟側からの評価を合わせて行う。

サブユニット#2 福祉施設等でのふれあい実習

Coordinator : 市川 政雄、堀 愛、田中 理恵、岩上 将夫 (医学医療系)

今年度の実施方法：サブユニット#1と同じ

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

看護や介護を必要とする当事者とふれあい、個別の体験を通して、福祉の現状と課題を認識する。

2. Objectives

- 1) 地域で健康障害や加齢によって看護・介護を受けている人達の特徴を述べる。
- 2) これらの人達の視点から、健康生活の維持・増進に必要な条件を述べる。
- 3) これらの人達を取り巻く家族や社会について説明する。
- 4) 医療・福祉・行政の枠組みと連携について述べる。
- 5) 医療・福祉に関わる人達とのコミュニケーションを通して、社会における医療の位置づけについて述べる。

3. 実習日程

掲示の通り。実習のオリエンテーションは別途実施する。学生は3班に分かれ、各班2日間ずつ、指定の機関または施設で実習を行なう。

4. 実習内容

[訪問看護ステーションでの実習]

看護師等の家庭訪問に同行し、看護の補佐をする。

[介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、グループホームでの実習]

施設長、生活指導員または実習指導担当者の指示に従いながら、高齢者の介護を行なう。

実習内容の例：入浴介助（浴場までの誘導、衣類の着脱、浴場での入浴介助、髪を乾かす、爪切りなど）、食事介助（配膳、下膳を含む）、排泄介助（トイレまで誘導、おむつ交換）、レクリエーション指導補助、話し相手など。

デイケア部門では上記に加えて、車での送迎補助、訪問入浴など。

5. 実習上の注意事項

- 1) 遅刻・欠席の際には実習開始時刻前までに実習機関または施設に連絡すること。
- 2) 指定の服装をすること。華美でなく（色に注意）機能的で見苦しくない服装を心がけ、エプロン、名札（一部縫いつけの指示あり）を忘れないこと。着替えを用意すること。靴下をはくこと。手拭きタオル等を持参すること。
- 3) 指示のある施設で実習する学生は、上履き（運動靴）を持参すること。
- 4) 昼食は施設ごとの指示に従うこと。代金はリーダーがまとめて施設に支払うこと。
- 5) 対象者に対して失礼のない言葉づかいをすること。どんな障害、認知症があっても障害者、高齢者は一人の人間である。安易におばあさん、おじいさんなどと呼ばないように。
- 6) 実習中に見聞きした事は決して他にもらさないこと（学生同士の話しでも他に誰が聞いているかわからない）。
- 7) 対象者の安全には細心の注意を払うこと。特に必要があつてベッド柵をおろした時には、必ず上げる、人を乗せて車椅子を押しているときには前に傾けない、食事介助は相手の嚥下を確認しながらペースを考えて行なうなど。
- 8) 実習場は対象者の生活の場である。騒がしくしたり、プライバシーを侵さないこと。
- 9) 介助の前後には手洗いをすること。爪は短く切り、清潔に保つこと。
- 10) 判断出来ないこと、困ったことなどあれば、職員、TA、教員に相談すること。
- 11) 万一事故が起こった時には実習場の責任者にすぐに連絡すること。
- 12) 体調を整えて実習に臨み、実習中に居眠り（訪問看護の行き帰りの車中も含む）などをしないよう気をつけること。

- 13) 実習中携帯電話およびタブレット端末を携帯しないこと。喫煙は、本実習中に限らずつつしむこと。
- 14) 飲食、駐車、駐輪は施設側が決めた場所のみで行うこと。
- 15) 車酔いをする者は、あらかじめ対応すること（特に訪問看護）。
- 16) 施設職員や担当者などに、きちんと挨拶すること。

6. 担当教員 : 市川 政雄、堀 愛、田中 理恵

担当教員およびティーチングアシスタント（TA）が実習施設を巡回します。疑問な点・要望は、遠慮なく話すこと。緊急時は、PCME に連絡すること。

7. 実習記録物

- 1) 実習中 2 日間の実習日誌をつけること。日誌にはその日に体験したこと、感想、疑問に思ったことなどを記録する。
 - 2) 実習終了後にレポートを書くこと（A4 のレポート用紙に 2 枚以上、ワープロ可）。テーマは「医療・福祉現場でのふれあいー学外医療福祉施設実習で学んだこと」。
 - 3) 実習に関するアンケート。
- 以上を実習終了後、下記の締切までにエントランスホール脇レポート Box まで提出すること。

8. 評価

評価は、実習態度、提出物および実習場側からの評価を合わせて行なう。

サブユニット#3 外来新患エスコート実習

Coordinator : 木村 友和 (医学医療系)

春Cモジュール：火曜日、水曜日、金曜日

今年度は、現在の状況を鑑みて、附属病院内でのこの実習は実施しない方針となりました。その代わりに、現時点で皆さんが考える「ウィズコロナ時代に必要な病院の機能と設備」を課題とするレポートを提出してください。細かな医療制度や法律に準拠する必要はありませんが、「教材・参考文献・配布資料等」を参考に考え、正しい知識に基づいたレポートを期待します。この課題はユニット#2病院見学実習と共通となります。

「教材・参考文献・配布資料等」：

1. 内閣官房 新型コロナウイルス対策 HP：
<https://corona.go.jp>
2. 日本環境感染症学会 HP 新型コロナウイルス感染症への対応について：
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328
3. 厚生労働省 HP 新型コロナウイルス感染症について：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
4. 国立感染症研究所 HP 新型コロナウイルス感染症関連情報：
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/covid-19.html>
5. 建築家と共創する病院づくり-対話が生む成長と変化に対応できる医療施設 日本医療企画, 2021.

以下は、実習が実施される場合のシラバスです。参考としてください。

1. Goal

筑波大附属病院初診患者の初診受付より会計終了までのエスコートをおこなうことができる。

2. Objectives

- 1) 患者の視点から病院外来の診療システムを述べることができる。
- 2) 患者の視点から見たときの大学病院受診のメリット・デメリットにつき述べるができる。
- 3) 一人の患者の心情を述べるができる。
- 4) 初診担当医師の患者に対する態度を見学し、医師としてあるべき態度はどのようなものか述べるができる。

3. グループ分け

学生は各回12名程度とする。各回3つのグループにわかれ各グループにリーダーを1名を設定する。指導教員は各グループに1名である。

4. 実習方法

- 1) 各回12名程度でおこなわれる。日程および担当教員名を確認する。
- 2) 夏休み実習のオリエンテーション時に概要が説明されるので趣旨を説明し病院の地理に通じておく。
- 3) 当日はロッカーへ荷物を置いた後に朝8時15分までに教室に集合し、担当教員より説明を受ける。必ず担当教員への連絡方法を確認する。また、グループのリーダーの学生は担当教員に自分の連絡先を伝える。
- 4) 外来受付にて、教員より新患受付中の患者の紹介をうける。
- 5) 学生は自己紹介の上、新患受付より、会計終了時あるいは病院出口、患者に役立つと思われる場合は自動車等に乗車するまで患者と行動をとる。この間必要に応じて患者の補佐をおこなう。
- 6) 患者エスコート終了後、グループ長より担当教員にその旨連絡する。
- 7) エスコート中の行動、気づいたこと、感想を本実習のSB0を念頭においてレポートにまとめ、実習日翌木曜日17時までにエントランスホール脇レポートBoxまで提出する。

5. 注意事項

- 1) 清潔な服装・頭髪を心がけ、エプロンおよび名札着用のこと。
- 2) 患者が目上の存在であることを忘れず敬意を持って接すること。
- 3) 患者や周りの人を不愉快にさせることがないように、きちんとした態度で実習に臨むこと。
(実習中の飲食、あくび等)
- 4) 患者の同意を得て診察に立合う際には、外来担当医師に自己紹介し、立合いの是非について尋ねること。
- 5) 歩行時など患者の安全に十分注意を払うこと。高齢者は歩行速度が遅いことなどに留意し、患者に合わせた行動をとること。
- 6) 問題点が生じたときは早めに教員に連絡のこと。
- 7) エスコート中に知り得た患者個人に関する情報を他に漏らさないこと。
- 8) 遅刻・欠席の場合は必ず担当教員もしくは教務担当に連絡すること。
- 9) 病棟内で携帯電話の電源を入れないこと。
- 10) 終了時の教員への連絡を忘れないこと。

ユニット#2 病院見学実習

病院ツアー「病院の仕組みを知る」

今年度は、現在の状況を鑑みて、附属病院内でのこの実習は実施しない方針となりました。その代わりに、現時点で皆さんが考える「ウィズコロナ時代に必要な病院の機能と設備」を課題とするレポートを提出してください。細かな医療制度や法律に準拠する必要はありませんが、「教材・参考文献・配布資料等」を参考に考え、正しい知識に基づいたレポートを期待します。この課題はユニット#1サブユニット#3外来新患エスコート実習と共通となります。

「教材・参考文献・配布資料等」:

1. 内閣官房 新型コロナウイルス対策 HP :
<https://corona.go.jp>
2. 日本環境感染症学会 HP 新型コロナウイルス感染症への対応について :
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328
3. 厚生労働省 HP 新型コロナウイルス感染症について :
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
4. 国立感染症研究所 HP 新型コロナウイルス感染症関連情報 :
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/covid-19.html>
5. 建築家と共創する病院づくり-対話が生む成長と変化に対応できる医療施設 日本医療企画. 2021.

以下は、実習が実施される場合のシラバスです。参考としてください。

はじめに

病院で行われる医療は医師や看護師だけの力では実行することができません。皆さんが、将来、医師として働く現場がどのような人たちによりどのように支えられているかを知ることは、医療チームをリードする医師にとって重要なことです。これら多職種の人々の役割とシステムに精通し、上手に連携することは皆さんの行おうとする医療の質を高めることに大変役立ちます。

1. Goal

病院の仕組みを理解することにより、患者中心の質の高い医療をチームで安全に行える医師になるための基本を身につける

2. Objectives

- 1) 病院の提供している各種サービスを分類して述べるができる。
- 2) 診療活動を支援している部門を列記することができる。
- 3) それぞれの部門がどのようなサービスを誰に対して提供しているかについて概略を述べるができる。
- 4) 医療現場を見ることにより、現在の問題点をいくつか数え上げられる。
- 5) チーム医療、医療連携の意義について説明できる。

3. 実習内容

集合場所 : 臨床講義室 B

- 1) 2日間かけて、院内のバックヤード機能を担う代表的な部門を4カ所/日、診療全体を側面から支援する部門4カ所/日を順次ツアーし、その部門のスタッフとのコミュニケーションを通じて機能と役割を理解し、あわせて現場を見学することにより職場の環境について合理性や問題点を考察する(各20分程度)。
- 2) ガイド役の指導教員からは
 - ① このような病院の「パーツ」がトータルとしての病院の活動にいかに関与が重要で不可欠か
 - ② 安全かつ快適な診療環境を実現するためにそれぞれのスタッフがどのような貢献をしているか
 - ③ 皆さんが医師として働く際これらのリソースをいかに有効に利用できるかなどにつき総括的な説明があります。

- 3) 実習中は白衣着衣と名札の着用を厳守する。白衣の下の服装も社会人として節度のあるものとする。
- 4) ツアー終了後、教室（集合場所）に一旦戻り、指定された様式のレポートをまとめ、実習当日中にエントランスホール脇レポート Box に提出すること。

※注意

- ・白衣・名札のなき者、服装が医学生の医療施設見学としてふさわしくないと判断された者は実習に参加できない場合があります。
- ・ツアーのため、遅刻厳禁（集合時間を守ること）。遅刻した場合、実習参加と認められない場合があります。

ユニット#3 コミュニケーション実習

Coordinator : 前野哲博・堀内明由美 (医学医療系)

1. Goal

臨床医として重要な患者－医師関係の構築について学ぶことで医学生としてのモチベーションを高めることをねらいとして、模擬患者とのロールプレイを通してコミュニケーションの意義及びその重要性を理解した上で、医学生として患者に接する時に配慮すべきことおよび自身の今後の学習目標を明確にすることができる。

2. Objectives

- (1) コミュニケーションの構成要素と特性を理解する。
- (2) 医療面接の持つ3つの役割(患者理解の為の情報収集、信頼関係の形成、患者教育と治療への動機付け)を説明できる。
- (3) 医療面接に必要な環境整備ができる。
- (4) 良好な患者－医師関係の構築の重要性を述べる。
- (5) 自分の話し方、言葉遣い、服装などが相手にどう受け止められているか、客観的に説明できる。

3. 実習内容

集合場所 : 4A322 集合時間 : 15 : 15

(必ず、白衣と名札、マスクを着用のこと。本オリエンテーション資料を持参のこと。余分な荷物はロッカーに入れてくること。)

4. 進め方

3～4人×7グループで実習する。

①ロールプレイ

SP(模擬患者)の方に協力いただき、学生は全員が交代で医学生役となり(設定:総合病院の内科初診外来、医学生として医療面接を行う)、5分間のロールプレイを行う。ロールプレイ終了後、SPを交えてディスカッションする。

②ロールプレイ・討論の進め方

- 1) 面接 5分
- 2) 振り返り(名簿の司会者が進行する) 12分
 1. 医者役振り返り
 2. 観察者振り返り
 3. SPの感想、シナリオ開示
 4. 討論

③グループ討論、全体討論

ロールプレイ全体を通して気づいたこと、学んだことについてグループで話し合う。最後に全体討論を行う。

※SP(Simulated patient、模擬患者)

医療面接実習などにおいて模擬の患者役を演じて、医学生の教育にかかわってくれる存在である。患者・市民の立場のSPが、性格・生い立ち・生活環境などを詳しく設定した患者になりきって、ロールプレイを行う。振り返りでは、その患者として気づいたこと、感じたことを率直に医療者役にフィードバックする。SP参加による教育の利点として、以下の点が挙げられ、医学類の教育で協力を得ている。

- ・教育の場にあわせて、繰り返して行える
- ・患者に関する議論が、患者役が参加して行うことができる
- ・本物の患者に害が及ばない

(2)タイムテーブル(実施日によって若干の変更があります)

15:15-15:35	実習説明・コミュニケーションに関するレクチャー
15:35-15:54	ロールプレイ 1 回目
15:55-16:14	ロールプレイ 2 回目
16:14-16:23	休憩
16:23-16:42	ロールプレイ 3 回目
16:43-17:02	ロールプレイ 4 回目
17:02-17:15	グループ討論
17:15-17:30	全体発表・まとめ

(3)レポート

翌週の火曜日の 17:00 までに manaba M1_医療・福祉現場でのふれあい等(早期体験学習)のレポートからフォーマットをダウンロードして manaba に提出する。

(4)留意事項

ロールプレイで医師役を行う際は、清潔な白衣を着用すること。(白衣の下の服装、靴も患者から信頼感を得られるよう注意して臨んで下さい)

新型コロナウイルス感染対策のため、SP との医療面接において、医学生と SP の間にアクリル板を設置する。マスクも着用しており話がしづらい点を考慮にいれて、できるだけスムーズにコミュニケーションを進めるにはどうするとよいかを考え、工夫をしてください。

ヘッドホンなどの機材は実習時間を通じて同じものを用いて、終了時にアルコール消毒をして下さい。

(5)教材・参考文献・配布資料等

コミュニケーションに関する資料(実習冒頭で説明)を実習当日に配布する。

ユニット#4 リハビリテーション実習、救急実習

実習方法：5時限目にリハビリテーション部実習を行い、その後、6時限目に救急実習を行う。

サブユニット#1 リハビリテーション実習

Coordinator: 羽田 康司 (医学医療系)

清水 如代 (医学医療系)

今年度は、現在の状況を鑑みて、附属病院内でのこの実習は実施しない方針となりました。

今年度の実施方法・課題等：レポート提出

内容：以下について、manaba「xx22021-008 M1_医療・福祉現場でのふれあい等（早期体験学習）」内コンテンツ「リハビリテーション実習」の動画を参考に、簡潔に述べてください。

（レポートは manaba に提出）

- 1) 「病気」と「障害」の違いについて
- 2) ノーマライゼーションについて

下記は、例年の実習内容です。どのような実習が行われているかを確認しておいてください。

1. Goal

患者の日常生活に生じる不自由さを視野に入れたチーム医療を指向できるようになるために、見学と体験を通じて医療におけるリハビリテーションの意義を理解する。

2. Objectives

- 1) リハビリテーション医療を担う職種を説明できる。
- 2) 日常生活における基本的な動作の不自由な状態を指摘できる。
- 3) 心身の障害を有しながら自立度を向上させる意義を述べられる。

3. 学習内容

集合場所：附属病院リハビリテーション訓練室（C棟2階）集合時間：15:15（必ず白衣と名札を着用）

- 1) 見学：リハビリテーション部で仕事しているスタッフ（医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の説明を聴き、事例を通して学ぶ。
- 2) 体験：理学療法、作業療法、言語聴覚療法の体験を行う。

サブユニット#2 救急実習

Coordinator : 井上 貴昭 (医学医療系)
下條 信威 (医学医療系)

1. Goal

一市民あるいは臨床医として、救命救急現場において一時救命処置が実践できるようになるために、Basic Life Support (BLS) の手法について学ぶ。

2. Objectives

- 1) Basic Life Support (BLS) の意義・重要性を理解する
- 2) BLS の手技を実践する。

3. 学習内容 集合場所 : 4A 棟 3 階 322

集合時間 : 16 : 45 (必ず白衣と名札を着用)

- 1) BLS のビデオを見て、その手順を学習する。
- 2) ビデオの手順を見本にして、トレーナーで実際に BLS の実習を行う。
- 3) 1 グループ 5～6 名 × 5 グループ
- 4) 実習終了後、指定された様式のレポートをまとめ、実習翌週の火曜日までに manaba に提出すること。

※服装について

実習時は動きやすい服装 (ズボン、スラックス、運動靴) を心がける。スカート、胸元の開いた服、サンダル、つっかけ、かがむと背中が見えそうな服、口紅はさけてください。

ユニット#5 高齢者/妊婦模擬体験実習

Coordinator : 前野 貴美 (医学医療系)

1. Goal

高齢者/妊婦に体験を通して患者の視点を理解し、医療者としての態度を学ぶ。

2. Objectives

- 1) 高齢者および妊婦の身体の特徴を理解する。
- 2) 高齢者および妊婦が感じている不自由さを体験を通して理解する。
- 3) 高齢者および妊婦に対してどのような支援が必要なのかを学ぶ。
- 4) 医療者として、人として、身体が不自由な人への思いやりの心を身につける。

3. 実習方法

集合場所 : 4A 棟 3 階 303

集合時間 : 15 : 15

注意事項 : ・高齢者用・妊婦用装具を装着します。装具のマジックテープ等で衣類を傷つける可能性がありますので服装（ニット製品、ストッキング等）に注意して下さい。厚手の靴下を履いて履けるような、ゆるめの靴を履いてきて下さい（スニーカー等）
・装具を装着して大学構内での行動を体験します。貴重品等を持ち運べる大きさのバッグを用意できる人は持ってきて下さい。

1) 1回 12~13名で実習する。

高齢者用・妊婦用装具のどちらかをグループ内でお互いに介助し合って装着する。その後、一定時間装具をつけたまま室内・室外でいろいろ行動してみる（天候により変更あり）。行動範囲は大学構内敷地内とする。体験後、体験を通して感じたこと、医療者として今後に活かしたいことについてディスカッションを行う。

2) タイムテーブル

15:15-15:30 オリエンテーション、諸注意等を担当教員が行う

15:30-16:00 装具装着

16:00-17:00 実際行動

17:00-17:20 装具後片付け

17:20~ ディスカッション、まとめ

3) レポート

実習終了後、指定された様式のレポートをまとめ、実習翌週の火曜日までに manaba に提出すること。

ユニット#6 研究室紹介

Coordinator : 佐藤 豊実 (医学医療系)

1. Goal

筑波大学の医学系研究室で行われている最新の研究内容を知り、医学研究の面白さと多様性を理解する。

2. Objectives

- 1) どのような研究が行われているかを列挙する。
- 2) 研究室紹介の内容に関して質問する。

3. 学習方法

臨床講義室 C で、毎回 3~4 グループに研究紹介をしていただく。

実習日程以外の研究室の紹介は、後日掲載される manaba の研究室紹介コンテンツにて視聴可能。

令和4年度研究室紹介日程

実習日	時間	グループ名	担当者	実習日	時間	グループ名	担当者
4月19日	15:15 ~ 16:30	分子行動科学研究コア	柳沢 正史	5月31日	15:15 ~ 16:30	地域医療教育学	前野 哲博
		国際統合睡眠医学研究機				救急・集中治療医学	下條 信威
		放射線腫瘍学	櫻井 英幸			環境保健学	高橋 司
腎臓内科	臼井 丈一	再生幹細胞生物学	山下 年晴				
4月26日	15:15 ~ 16:35	皮膚科	乃村 俊史	6月7日	15:15 ~ 16:35	免疫学	渋谷 和子
		整形外科	國府田 正雄			実験病理学	渡邊 幸秀
		神経生理学	小金澤 禎史			呼吸器外科	後藤 行延
		ヘルスサービスリサーチ	杉山 雄大			認知行動神経科学	松本 正幸
5月6日	15:15 ~ 16:35	感染症	鈴木 広道	6月14日	15:15 ~ 16:30	放射線診断・IVR	中島 崇仁
		呼吸器科	吉田 和史			保健医療政策学・医療経済学	近藤 正英
		小児科	今川 和生			産婦人科	中尾 砂理
		神経内科	辻 浩史				
5月10日	15:15 ~ 16:30	形成外科	関堂 充	6月21日	15:15 ~ 16:35	脳神経外科	石川 栄一
		眼科	岡本 史樹			麻酔科	猪股 伸一
		耳鼻咽喉科	廣瀬 由紀			福祉医療学	市川 政雄
		精神医学	井出 政行				
5月17日	15:15 ~ 16:30	臨床薬理学	土岐 浩介	6月28日	15:15 ~ 16:30	分子神経生物学	樹 正幸
		分子遺伝疫学	土屋 尚之			臨床試験・臨床疫学	我妻 ゆき子
		膠原病・リウマチ・アレルギー内科	坪井 洋人			消化器内科	土屋 輝一郎

ユニット#7 感染対策実習

Coordinator : 鈴木 広道、栗原 陽子 (感染症内科)

1. Goal

医療者として必要な感染対策の基礎を学ぶことで、自分が感染しない、他者にも感染を伝播させない重要性を理解する。

2. Objectives

#7-1 手洗い実習 適切な手洗い方法を身につける

#7-2 個人防護具 感染対策で使用する個人防護具 (personal protective equipment) にはどのようなものがあるか理解する。

3. 学習内容 集合場所 : 4A211 実習室
集合時間 : 15 時 15 分

#7-1 手洗い実習

事前学習 (動画は manaba からリンクでアクセス可能)

- ・ WHO の流水と石鹸による手洗い動画を視聴する。
<https://youtu.be/3PmVJQUcm4E>
- ・ WHO のアルコールでの手指消毒を視聴する。
<https://youtu.be/ZnSjFr6J9HI>



手洗い



アルコールによる
手指消毒

実習方法 :

- ① 配布資料の説明。
- ② 全員で手洗い手順の確認。
- ③ アルコールで手指消毒を行う。
- ④ 蛍光塗料入りのクリームを手になじりこみ、UV ライトで確認する。
- ⑤ 手を石鹸で洗う。四人で 1 か所の洗面台 (蛇口 2 個) を交互に使う。
- ⑥ UV ライトで洗い残しを確認する。
- ⑦ 再度手を洗う
- ⑧ UV ライトで洗い残しを確認する。

注意事項 :

- ・ 実習当日は、指輪や時計は外せるようにしておくこと。マニキュアはつけないこと。半袖または肘まで捲くことができる服装が望ましい。水や消毒液が付着する可能性があるのでサンダルは避けること。

#7-2 個人防護具 personal protective equipment(PPE)着脱実習

事前学習 (動画は manaba からリンクでアクセス可能)

- ・ WHO の PPE 着脱手順の動画を視聴する。

Putting on and removing PPE for contact and droplet precautions
<https://youtu.be/Y5XgQ4l4i1M>



PPE の着脱

実習方法：2人一組

- ① 物品の確認（手袋、マスク、ガウン、アイシールド）
- ② 配布資料を確認しつつ、ペアの一人目がアルコールで手指消毒してから PPE を着る。
- ③ イソジンで手袋と前腕に色をつける。
- ④ 配布資料を見ながら脱ぎ、アルコールで手指消毒する。
- ⑤ ペアで交替して②、③、④を繰り返す。

注意事項：

実習当日は、イソジン(茶色の消毒液)が付着する可能性があるので洗濯ができる素材の服装・靴でくること。

レポート課題：

- ① 標準予防策とは何か？
- ② 実習の感想について、をレポート用紙（専用用紙当日配布）に記入し、翌週火曜日 17 時までエントランスホール脇のレポートボックスに提出すること。